



↓見事優勝を果たした「いなづま子ども会」の皆さん



### いなづま子ども会が優勝

2月15日(日)、第1回邑楽郡ドッチビー大会が邑楽町町民体育館で開催され、町からは平成26年6月に開催されたスポーツフェスティバルのドッチビー競技で優勝した「いなづま子ども会」(29区)と、準優勝した「初谷子ども会」(27区)の2チームが出場しました。この大会には郡内各町代表10チームが出場し、板倉町の「いなづま子ども会」が記念すべき第1回大会の優勝を果たしました。

↓生徒を代表して意見発表をする針ヶ谷律樹さん



↑「子どもたちには高い志をもって欲しい」と話す宮田さん

### 若あゆが県大会で優勝

2月11日(祝)、群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館で、第68回上毛かるた競技県大会が開催されました。

町と邑楽郡の大会で優勝した「若あゆ子ども会」の小学生高学年の部門が<sup>み</sup>出場し、見事優勝を果たしました。

キャプテンの三田裕也君(大字板倉)は「小学校最後の大会で県優勝できてよかった。たくさん練習してきたかいがあった」と笑顔で話しました。



↑県大会で優勝した若あゆ子ども会のチームのみなさん

### 大人への第一歩

2月13日(金)、板倉中学校体育館で立志式が行われました。生徒を代表して針ヶ谷律樹さんが(大字海老瀬)意見発表をしました。また、成人式に開封予定のタイムカプセルには20歳になった自分宛のメッセージが封印されました。卒業生の講演ではJAXA(独立行政法人宇宙航空研究開発機構)勤務の宮田景子さんが自身の学生時代の過ごし方、JAXAに入りたいいきさつなどを話しました。



↑クラスの代表がタイムカプセルを栗原町長に手渡しました

↓矢口昇氏(上段)と針ヶ谷照夫氏(下段)に栗原町長より名誉町民の称号が贈られました



### 3 町制施行60周年記念行事を開催

2月1日(日)、中央公民館で、町制施行60周年記念式典、タイムカプセル封印式、健康づくり講演会の3つの行事が開催されました。

式典では、故小森谷義一氏に続き、町の発展に寄与された矢口昇氏、針ヶ谷照夫氏に名誉町民の称号が授与され、町政にご尽力された個人、団体が功労者として表彰されました。

↓2035年に開封するタイムカプセルを封印しました



↑東洋大学教授の佐藤加代子氏を講師に健康づくり講演会を開催

式典の中で、栗原町長は「行政区再編や小学校の適正配置など喫緊の課題に対応を図り、町としての責務を果たして参りたい」とあいさつし、健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図るため、町民・地域・行政が一体となって課題に取り組む「健康づくりのまち」宣言を行いました。

○名誉町民  
元群馬県議会議長 矢口昇  
元板倉町長 針ヶ谷照夫

○功労者表彰  
・地方自治功労 青木佳一、古橋泰治、石山甚一郎、荻野美友、青木秀夫、塩田兼男、田口昭夫、栃本登、森田孝市、青木教寛、小野田稔  
・社会福祉功労 増田宏一、小林新内、山岸秀男  
・産業振興功労 荒井嘉一郎、須藤稔  
・教育文化功労 小林滉、二ノ宮和良、和田利男、葎葉耕栄、只木久雄  
・団体功労 板倉地区少年補導員連絡会、板倉町国際交流協会、板倉町指定水道工事店組合、板倉町野菜出荷組合連絡協議会、板倉町認定農業者協議会、板倉町谷田川愛護団体、板倉町女性あどばんず、板倉町青少年ボランティア、天神池探検隊  
(順不同・敬称略)